

中小企業成長支援ファンド
「大和日台バイオベンチャー3号投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：宮川正 本部：東京都港区）は、ファンド出資事業（中小企業成長支援ファンド）において、DCIP3株式会社及びDCIP3号有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として40億円を出資することで合意し、組合契約を締結いたしました。

「大和日台バイオベンチャー3号投資事業有限責任組合」（以下「本組合」）は、日本と台湾の創薬分野を中心とした未上場のバイオベンチャーへの投資を行います。本組合は、新薬の開発段階をまたいだ長期的な資金供給を行いつつ、国内外の製薬会社や大学・研究機関との豊富なネットワークを生かした事業開発、経営人材の確保、上場サポート等の積極的なハンズオン支援を行い、投資先企業の企業価値向上を目指します。

本組合には中小機構のほか、国内外の事業会社・金融機関・政府系投資機関等の投資家が出資し設立されました。引き続き出資者の募集を行い、さらにファンド総額を拡充していく予定です。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・スタートアップ企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

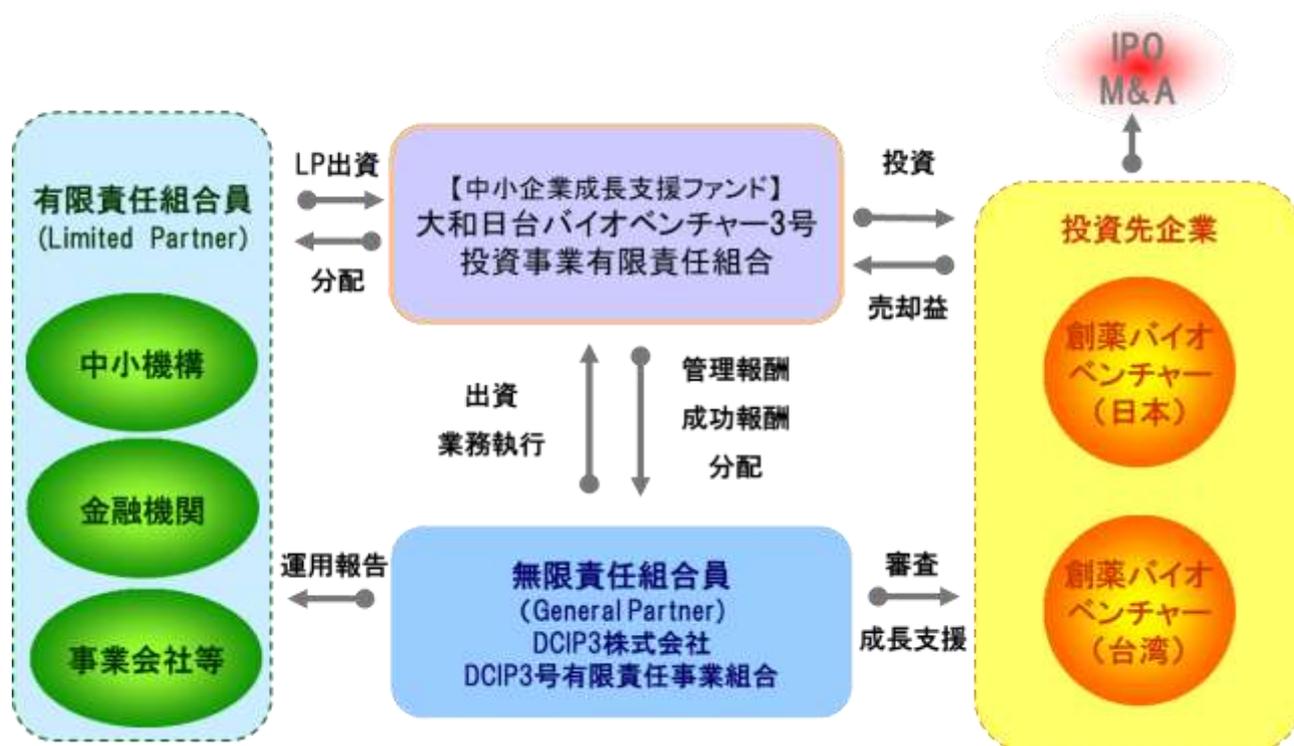
<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：吉中、齋藤）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37 森ビル
電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆「大和日台バイオベンチャー3号投資事業有限責任組合」の概要

- 「大和日台バイオベンチャー3号投資事業有限責任組合」は、DCIP3株式会社（所在地：東京都千代田区 代表取締役社長：成田 宏紀氏）及び DCIP3号有限責任事業組合を無限責任組合員として設立された投資ファンドです。
- DCIP3株式会社は、大和証券グループのバイオ専門ベンチャーキャピタルであるDCIパートナーズ株式会社の子会社として、令和6年10月に本組合の運営を目的として設立されました。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド出資実績

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf